

# 平ボデー

解体マニュアル

株式会社工業司

TSUKASABODY

# 平ボデー解体マニュアル

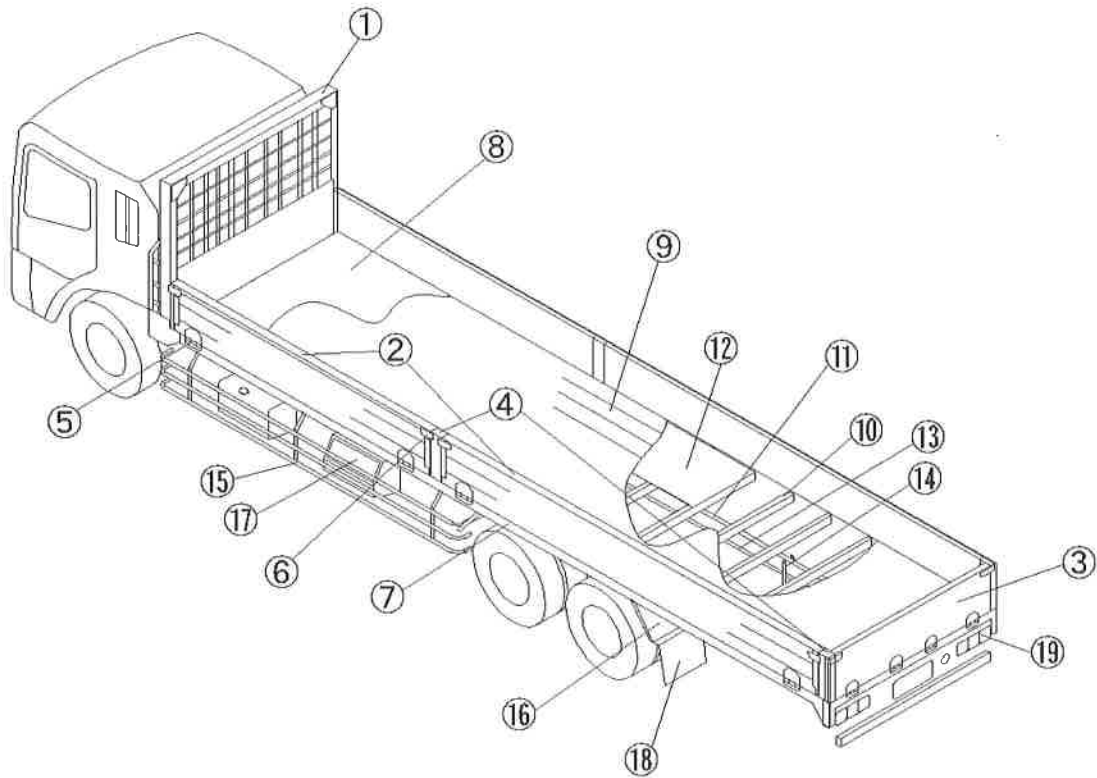
## 1. はじめに

- 1) 本マニュアルは、司工業製 平ボデーの解体に関して、「適正で効率的な作業」を案内し使用済み架装物処理の各段階で、適正且つ安全に処理するための手順をまとめたものです。
- 2) 本マニュアルは、解体に関する参考資料としてご提供するもので、実際の解体作業においては、解体事業者様のご判断により作業を進めて下さい。
- 3) 本マニュアルに記載する内容は、当社が必要とする事由により予告なく改訂することがありますので予めご了承下さい。

## 2. 作業上の注意

- 1) 安全な作業を行うに当って、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用して下さい。
- 2) 高所作業については、安全带、足場の確保等転落防止措置を講じて行って下さい。
- 3) 燃料系及び作動油等の除去・回収に当っては、消防法を遵守し、引火・爆発が発生しない様な環境及び方法で行って下さい。
- 4) 油脂・液材系の除去・回収に当っては、地下浸透や施設外流出が発生しない様な環境及び方法で行って下さい。
- 5) タンク等の解体時は有害物質等の除去・洗浄を完全に行い、安全の確保をした上で作業を行って下さい。
- 6) 使用済み架装物等に含まれる作動油等の有害物質、及び埋め立てが禁止されている蛍光灯等の部品・材料・並びにそれらを含む部品を、破碎処理する前工程で選別し、適正に保管・処分を行って下さい。
- 7) FRP・木材の解体後の処理については、シュレッター業者、又は専門回収会社に委託し、適正に処理を行って下さい。

### 3.主要部材名



番号	品名	材質	備考
1	鳥居	SS・SUS・アルミ	仕様により異なります
2	側煽り	SS・SUS・木材・アルミ	仕様により異なります
3	後煽り	SS・SUS・木材・アルミ	仕様により異なります
4	柱	SS・SUS	仕様により異なります
5	丁番	SS・SUS・アルミ	仕様により異なります
6	掛け金	SS・SUS	仕様により異なります
7	床枠	SS・SUS・アルミ	仕様により異なります
8	床上張り	SS・SUS・木材・アルミ	仕様により異なります
9	床板	SS・SUS・木材	仕様により異なります
10	横根太	SS・SUS・木材・アルミ	仕様により異なります
11	縦根太	SS・SUS・アルミ	仕様により異なります
12	下張り	SS・SUS・アルミ	仕様により異なります
13	スペーサー	ハイプラ・ゴムベルト	仕様により異なります
14	Uボルト	SS・SUS	仕様により異なります
15	サイドガード	SS・SUS・アルミ	仕様により異なります
16	リヤフエнда	SS・SUS・アルミ	仕様により異なります
17	工具箱	SS・SUS・木材・アルミ	仕様により異なります
18	マットガード	EVA	仕様により異なります
19	灯火器		仕様により異なります

## 作業手順

### 1. 艀装品の取外し

- 1) サイドガード「図 ⑮」、リヤフェンダー「図 ⑯」、マットガード「図 ⑰」、工具箱「図 ⑱」等のボデーの下回り品を取外します。
- 2) 灯火器類「図 ⑲等」のボルトナットを外し、ボデーより分離します。この際ボデーに固定されているハーネスも取り外します。
- 3) ハーネスは木製根太の場合主に「絶縁ステップル」で固定されています。プライヤー、ドライバー等で容易に外れます、又スチール根太の場合は主に配線ガード(スチールパイプ製)内を通してあるので、引き抜いて下さい。
- 4) ハーネスがシャシフレームよりボデーに上がっている部分は、最後部1箇所から、多いものは10箇所以上(車幅灯等の灯火器毎に)あります。

### 2. ボデーのシャシーからの分離

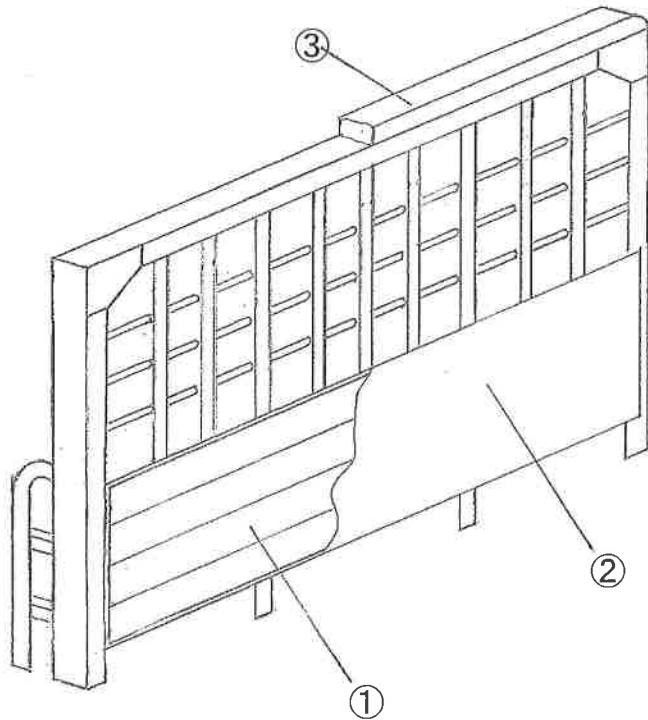
- 1) ボデーはシャシフレームに縦根太を介しUボルト「図 ⑭」(片側3～6箇所)で固定されており、この締付けナット(M10～M16)を外します。
- 2) シャシフレームと縦根太をUボルトの他に専用ブラケット又はフラットバーで(片側2～6箇所)で固定されており、これも取付けボルト(M8～M16)を外します。
- 3) クレーン等を使ってボデーを吊り上げて下さい。

### 3. 荷台の解体

#### 大別

- 1) 荷台を鳥居「図 ①」、側煽り「図 ②」、後煽り「図 ③」、床、に、大別します。
- 2) 鳥居はボルト、又は溶接にて取付けてありますので、ボルト類を取外します。又溶接にて取付けている場合、適所で切断します。この時鳥居が倒れないように、クレーン等で吊っておいて下さい。
- 3) 側煽り、後煽りは床枠に丁番ピン、ワッシャ、割りピン、Eリング等で連結されていますので、取外して床枠と分離します。

### 3-1 鳥居の分解



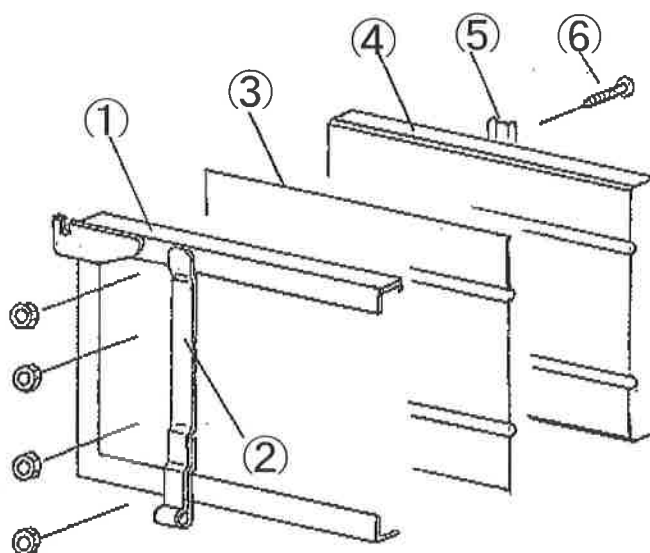
	品名	材質
1	前立	木材
2	前立	SS・SUS・アルミ
3	枕木	木材

- 1) 鳥居本体の荷台側(前立)は全面又は半分ほど鉄板材、木材、ステンレス、アルミ等で覆われていますが、ビス又はリベットで固定されている場合、ビスは緩め、リベットはφ5~6mmのドリルにて、リベットの芯部に穴をあけることで容易に外れますので、板材を鳥居から剥離します。
- 2) 鳥居本体に溶接されている鉄板材は切断し鳥居本体と分離するか、鳥居本体と一緒に適当な大きさに切断します。
- 3) 鳥居には取付け部品として、枕木、鳥居デッキ等があります、概ねボルト止め(M8~M10)の構造になっておりますが、木材、アルミ、ステンレス等異質の材料も含まれているため確実な分離をして下さい。

### 3-2 煽りの分解

- 1) 煽りには「木製煽り」、「アルミ製煽り」があります、ここで「木製煽り」、「アルミ製煽り」に分けて解説します。
- 2) 煽りが分割して取付けられている場合、煽りと煽りの間に柱が備わっていますが、柱は床から引き抜いて下さい。

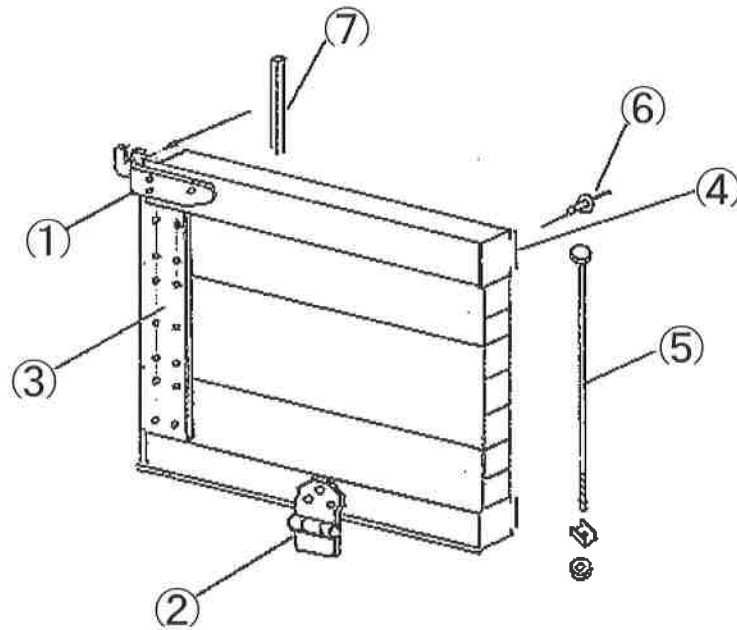
#### 木製煽りの分解



	品名	材質
1	外枠	SS・SUS
2	丁番	SS・SUS
3	外板	SS・SUS・アルミ
4	内板	木材
5	裏座金	SS・SUS
6	ボルト・ナット	SS・SUS

- 1) 外枠、丁番、外板が金属、内板が木材になります、丁番縦部のボルト、ナットを外し外板、内板を分離します。
- 2) 金属製の枠は適当な大きさに切断します。溶断機を使用して切断する場合、必ず内板(木材)を取外した後に、切断して下さい。

## アルミ製煽りの分解



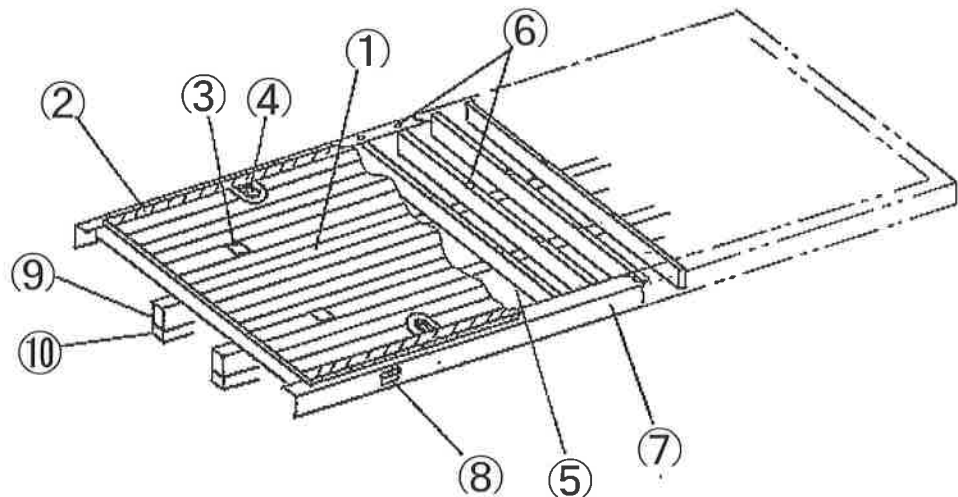
	品名	材質
1	掛け金	SS・SUS
2	丁番	SS・SUS・アルミ
3	コーナーポスト	アルミ
4	裏蓋	アルミ
5	通しボルト	SS
6	リベット	SS・SUS・アルミ
7	ゴム類	

- 1) ボルト、ナット及びリベットで組立られています。リベットはφ5～6mmのドリルでリベットの芯部に穴をあけることで容易に外れます。
- 2) 前後の掛け金はボルト、ナットを内外両面、又は外面から外し分離します。又煽りの中間部に部品が付いている場合は取外します。
- 3) 煽り本体、内側の裏蓋、コーナーポスト(縦材)のリベットを外し、煽りの内側に隠れている「通しボルト」、「煽り丁番」等のナットを外し、上下数本、コーナーポストと分離します。
- 4) 前後端に木材、スチール材、又は樹脂等の部品が挿入されている場合には取外します。

5) 上下数本に分離した煽りの合わせ目に、ゴム類が挿入されている場合は引き抜きます、又コーナーポストに水切ゴム「図 ⑦」が付いている場合は引き剥がします。

6) 嵌合組立の場合分解できないので、丸ノコ等で適当な大きさに切断します。

### 3-3床の分解



	品名	材質
1	床板	木材
2	フチ保護材	SS・SUS
3	スツヨソ受	SS
4	床フック	SS・SUS
5	横根太	SS・SUS・木材・アルミ
6	根太ボルト	SS・SUS
7	床枠	SS・SUS・アルミ
8	煽り丁番	SS・SUS
9	縦根太	SS・SUS・アルミ
10	スペーサー	ハイラ・ゴムボルト

- 1) 床本体に取付け部品「図 ③」、「図 ④」等及び床のフチ保護材「図 ②」がある場合最初に取り外します。又フチ保護材は適当な長さに切断します。
- 2) 床板上が金属張りの場合、床板へのビス止め部、又は溶接部を切断します。又床上材は床板と接着剤等で固定しているので、接着剤等を破壊しながらパール等で剥して下さい。



- 3) 床板(特別な仕様以外)は横根太にビス又は釘で固定されています。ビスが全て弛めばビスを外し床板を取外します。  
ビスが弛まない場合又は釘で固定されている場合は、各根太間を丸ノコ等で切断し、バール及びハンマー等を使い分解します。  
床枠下に床板が入り込んでいる場合、床枠の分解時床板を取除きます。
- 4) 床板下に金属、又は樹脂等の下張りが有る場合、同時に剥し適当な大きさに切断します。
- 5) 床枠と横根太がボルト組立の場合、ボルト、ナットを取外し床枠を分離し、床枠は適当な長さに切断します。
- 6) 床枠と横根太が溶接組立の場合、適当な大きさに切断します。
- 7) 床枠と煽り丁番がボルト止めの場合、ボルト、ナットを取外し丁番を分離します。
- 8) 縦根太と横根太がボルト組立の場合、ボルト、ナットを取外し縦根太と横根太を分離します。この時連結材があれば各々より分離します。
- 9) 縦根太と横根太が溶接組立の場合、適当な大きさに切断します。
- 10) 縦根太下面にスペーサーがボルト等で取付けてある場合、分離し適当な大きさに切断します。

#### 4 分別処理の注意

分解した材料は「鉄」・「アルミ」・「ステンレス」・「木材」・「樹脂(FRP他)」・  
「ゴム類」・「ハーネス」 等を確実に分離して、適正な処理をお願い致します。

\* 解体マニュアルについてのご質問窓口は

司工業株式会社 設計部  
TEL 043(486)8871